

ハイイロシメジ *Clitocybe nebularis*

キシメジ科カヤタケ属

概要

地方名	
傘の大きさ	中型から大型
形と色	<p>傘：うすい灰色で、成熟するとほぼ平らに開き、中央がくぼむこともある。中央部は色が濃くなっている。</p> <p>ひだ：白色からごくうすい灰色またはクリーム色で、密である。</p> <p>柄：白色からうすい灰色で、短くしっかりして、地上部が膨らんでいる。</p>
発生時期	秋から晩秋にかけて
発生場所	落ち葉の多い地上に群生または散生する。
その他	よいだしが出て、味もよいことから食する事があるが、食用にすべきではない。
症状	食後数十分から 24 時間以内に嘔吐、下痢など胃腸など消化器系中毒を起こすが、数日で回復する。
毒性成分	毒成分は不明であるが、ネブラリン、レクチンタンパクなどを含む。
間違えやすい食用きのこ	

(写真図説)

根元は大きく膨らみ、傘に対してやや短く、ずんぐりしている。



詳細**1 特徴**

(1) 毒性成分*1	(成分名)
	(構造式)
	毒成分は明らかではないが、ネブラリン、レクチンを含有する。
(2) 食中毒の型	消化器系中毒
	(毒性成分の含量)
	(毒性発現機構)
(3) 中毒症状*1	摂取後、嘔吐、腹痛、下痢、悪寒などの胃腸消化器系の中毐症状を示すが、数日で回復する。
(4) 発症時間	摂取後 30 分から数時間または 24 時間程度
(5) 発症事例	(症例 1)
	(症例 2)
	(その他)
(6) 中毐対策	

2 毒性成分の分析法

毒成分が明らかでないため分析法はない。

(1)	説明
	(図解)

3 その他

諸外国での状況	
参考になる情報	

4 間違えやすい食用きのこ

1	一般名	シメジ類
	学名	
	発生場所	
	発生時期	
	形態	

引用・参考文献

- 1) 長沢栄史. 「フィールドベスト図鑑 14 日本の毒きのこ」(株) 学習研究社